

違
つ
て
た
っ
て
い
い
。
違
っ
て
る
か
ら
い
い
。

24人の生徒、20の国籍、24のストーリー
フランス中を感動に包んだドキュメンタリー

バベルの学校

LA COUR DE BABEL - SCHOOL OF BABEL



『パパの木』、『やさしい嘘』
(カンヌ映画祭批評家週間賞)の
ジュリー・ベルトウチェリ監督作品

監督: ジュリー・ベルトウチェリ 原題: La Cour de Babel
配給: ユナイテッドピープル 後援: 在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本
フランス/2013年/フランス語/89分/ビスタ/カラー/5.1ch/ドキュメンタリー
www.unitedpeople.jp/babel

U UNITED
PEOPLE

INSTITUT
FRANCAIS
フランス語の学校
JAPON

母語も、文化も、宗教も、移住してきた理由もバラバラ。 世界の縮図のようなクラスが1年後にたどりつく先は…?

子どもたちの無限の可能性を引き出す本当の教育とは何か。原点をじっくり教えてくれるこの作品。ぜひ多くの教育関係者、親たちに見てほしいです。
教育評論家・尾木直樹（尾木ママ）

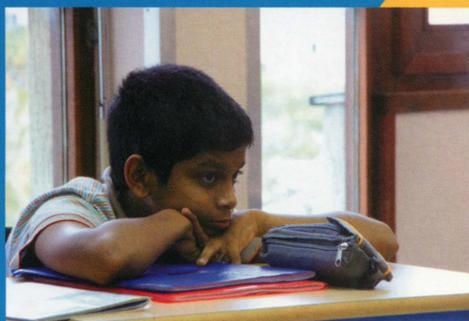
「みんなと同じ」である必要はありません。国や文化の違いは、素晴らしいことなのです。
ジュリー・ベルトウチェリ監督

「違い」は、集団において財産である。2020年までには、日本にもそんな文化をつかっていきたい。
作家・東京都教育委員 乙武洋匡さん

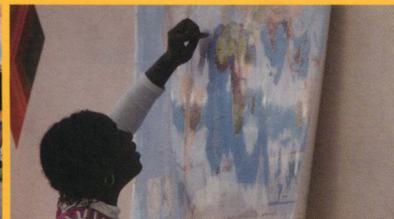
アイルランド、セネガル、ブラジル、モロッコ、中国…。

フランス・パリのとある中学校には、

11歳から15歳の世界中からやってきた20国籍24人の子供たちが集まっている。



家庭の事情でやってきた子、辛い母国の生活から逃れ自由になるためにやってきた子、または単によりよい生活を求めて来た子など、移住してきた理由も様々。フランスに来たばかりの彼らが入ったのは、フランス語の集中トレーニングを受けるための「適応クラス」。国籍も宗教も家庭のバックグラウンドも異なる10代の彼らは、その違いに真正面から向き合い、時には大声で口論し、涙を流すことも。そんな彼らを驚くほどの辛抱強さで見守り、一人一人の夢を引き出し、導いていったのがブリジット・セルヴォーニ先生だった。フランス全土の劇場で公開され、反響を呼んだ感動作。



監督:ジュリー・ベルトウチェリ 編集:ジョジアンヌ・サルドーヤ オリジナル音楽:オリヴィエ・タヴィオー 制作:Les Films du Poisson, Sampek Productions
共同制作:ARTE France Cinema 原題:La Cour de Babel 配給:ユナイテッドピープル 後援:在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本
フランス/2013年/フランス語/89分/ビスタ/カラー/5.1ch/ドキュメンタリー

新宿武蔵野館

新宿区新宿 3-27-10 武蔵野ビル3階
03-3354-5670 shinjuku.musashino-k.jp

1月31日(土)より公開
(モーニングショー)

渋谷アップリンク

渋谷区宇田川町37-18 トツネビル1・2階
03-6825-5503 uplink.co.jp

1月31日(土)より公開

シネマ
横浜 **ジャック&ベティ**

横浜市中区若葉町3-51
045-243-9800 jackandbetty.net

3月7日(土)より公開

シネマグループ
シネ・リーブル梅田

大阪市北区大淀中 1-1-8
梅田スカイビルタワーイースト 3F
06-6440-5930 ttcg.jp

3月公開予定